

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

登米市シルバー人材センターは、市当局を始め、関係機関の適切なお指導ご援助を頂きながら、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、法令順守、高い公益性を重視し、会員の入会促進、事業の普及啓発、適正就業の推進、安全就業、技能講習など、会員と役職員が一体となって取り組み、地域社会並びに会員からの多様なニーズに応えられるシルバー人材センターづくりを目指し活動して参りました。

平成30年度に掲げた重点事項を基に、次のとおりご報告いたします。

(1) 会員の入会促進

市内全戸に向けて「シルバーだより登米」を発行、あわせて、「会員募集チラシの設置」、「地元情報誌などに会員募集広告を掲載」など、積極的にセンターの情報発信を行い、新規会員の入会促進を強化しました。

(2) 就業先の確保と派遣事業の推進

新規就業先の開拓を目的として広報媒体やメディアに広告を掲載し、積極的にセンター事業の広報活動を行うとともに、市内全戸へ向けて「シルバーだより登米」を配布しPR活動に努めました。あわせて、労働者派遣事業を推進し、新たな就業の確保・確立に努めました。

(3) 安全就業の徹底と健康管理

『安全はすべてに優先する』を事業運営の基本として、「事故ゼロ」をめざし、安全管理委員会や安全就業推進大会を開催し、安全就業や健康管理の重要性、就業途上での交通事故防止などについて啓蒙を図りました。あわせて、作業状況や保護具の着用状況、通行人等への安全配慮対策など、事故を未然に防ぐため就業現場の巡回指導を強化いたしました。

(4) 就業技能の向上

就業技能の向上と後継者の育成を目的として各種講習会を開催し、就業体制の強化を図りました。また、会員以外の市内在住の高齢者にも広く受講をよびかけ、センターの事業内容、就業等に必要な知識・技能等を習得する機会を提供いたしました。

(5) 適正就業の推進

適正就業ガイドラインにより、会員の働き方について指針が示されたことを受け、ガイドラインに則った働き方にするよう指導が強化されました。そのため、現在受注している就業内容について調査を行い、臨時的・短期的または軽易な業務に係る就業を基本として、労働者派遣事業への切り替えを進めました。

(6) 調査研究活動

発注者に対するサービス内容の改善・充実、入会促進活動を効果的に行うため、顧客満足度調査、入会経路のアンケート調査を実施いたしました。